

「MUSIC STATION ができるまでと TV のこれからと音楽業界のこれから」

山本 たかお (やまもと・たかお) 先生

株式会社テレビ朝日 編成制作局
エグゼクティブプロデューサー兼
事業局イベント事業部

1959 年生まれ、1982 年一橋大学法学部卒、株式会社テレビ朝日入社。制作局配属。

数々の音楽番組の AD、「グラミー賞 SP」のディレクターの後、

1986 年に「ミュージックステーション」を立ち上げ、

以来 25 年余担当。ディレクター、チーフディレクター、

プロデューサー兼演出を経てチーフプロデューサーに。

その他にも「パパパパ PUFFY」(1997)、「8時だ J」(1998)、

「裸の少年」、「マシュー'S BEST HIT TV」(2001)の

プロデューサーを担当、「堂本剛の正直しんどい」(2002)、

「いいはなシーサー」(2007)なども企画する。2010 年より「タモリ

倶楽部」も担当する。2011 年 9 月「テレビ朝日ドリームフェスティバル」を企画、

B'z、ラルク・アン・シエル、グレイ、東京事変、いきものがかりなどを集めたライブイベントを日本武道館で 3 日間開催。

現在、株式会社テレビ朝日 編成制作局エグゼクティブプロデューサー兼事業局イベント事業部。

「ミュージックステーション」チーフプロデューサー、「タモリ倶楽部」プロデューサー。



《講義概要》

株式会社テレビ朝日編成制作局エグゼクティブプロデューサー兼事業局イベント事業部、「ミュージックステーション」チーフプロデューサー、「タモリ倶楽部」プロデューサーとして、25 年余音楽番組に携わり、数々のテレビ番組を企画する山本たかお氏が、MUSIC STATION ができるまでと TV・音楽業界のこれからについて講義を行った。

講義ではまず、MUSIC STATION ができるまでの裏側について紹介した貴重な映像を上映し、音楽番組制作の仕組みやこだわりについて詳しく解説。多くのスタッフが関わる生放送番組制作の工程やスケジュール、ブッキングのシステム、さらには番組制作における戦略についてまで具体的に示し、音楽番組制作の奥の深さやその魅力を学生に伝えた。

また、TV と音楽業界の今後の動向についても説明し、デジタル技術の発達に伴い、ネットと共存共栄していく必要があることや、優れたソフトを作る能力を確保することが重要なポイントとなることを示した。さらに、音楽の聴かれ方が変化する中で、アーティストの育成や、魅力的な番組制作などが今後の音楽業界の発展にとって重要であると指摘し、音楽ビジネスの可能性についても言及した。TV、音楽産業の課題について音楽番組制作の角度から分析し、今後のさらなる展開への軌道を見据える講義となった。

《受講生の感想》

●冒頭で見せていただいた MUSIC STATION 制作の様子はとても面白かったです。生放送ということもあって、制作者（スタッフ）や出演者の緊張感が伝わり、制作への熱意や「生」だからこその苦労・努力など、番組に関わる人々の様々な想いが沢山込められているということが分かりました。

立命館大学・法学部・4 回生

●MUSIC STATION は生放送にこだわる良さに“音楽は生（ライブ）”というのが大きく感じました。生にこだわる背景に視聴者が存在し、その視聴者のために行っていることだと感じ、とても感動しました。また、音楽業界へのお手伝いという姿勢にも心惹かれました。MUSIC STATION はこれからも続いて発展してほしいと思います。

立命館大学・産業社会学部・3 回生

●MUSIC STATION が始まって 25 年、なぜ生放送にこだわり続けるのかという理由が聞けてとても納得できました。また、「ながら試聴」の人たちを惹きつける、興味を持たせるなど TV 独特のこだわりが非常に面白いと感じました。

立命館大学・映像学部・2 回生

●MUSIC STATION は日本の音楽文化を盛り上げるための“こだわり”を持って番組を制作していると感じた。「生放送」といった「こだわり」は音楽を視聴者に最適な方法で届ける手段だと感じたり、そういった“こだわり”を持って制作している番組だからこそ長続きするのだと感じた。

立命館大学・産業社会学部・4 回生

●「音楽業界を応援している」という言葉が印象的でした。MUSIC STATION は音楽業界に大きな影響を与えていると思います。テレビのコンテンツもデジタル化という時代の流れに適応して動かなければならないのだなと思いました。音楽自体の底力がこれからの音楽業界を発展させるのだなと思いました。

立命館大学・産業社会学部・2 回生

●レコード会社等音楽（CD）を売るという立場ではなく、テレビで音楽を流し、テレビを観てもらおうという立場からの音楽産業への関わりを今日は学ぶことができ、これまでの講義とはまた違った側面から音楽産業について知ることができました。

立命館大学・産業社会学部・4 回生

